

防犯カメラの設置基準、原発への対応、新型コロナ対策で激しい論戦

6月議会では、日本共産党議員団の3人はいずれも市民の立場に立った論戦を一般質問で展開しました。その概要を紹介します。最初は橋爪法一議員の質問です。



防犯カメラの設置と管理は

橋爪議員は、まず市の施設における防犯カメラの設置と管理はどうなっているかをたずねました。

これは、市の施設に設置されている防犯カメラが、施設によっては市民の活動を監視するように設置されているのではないかとこの市民の声を受けての質問です。

市長はこれについて、「防犯カメラの設置・運用は、『新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例』による指針を踏まえ、個別の建物ごとに対応している。市役所や市民プラザなどでは、防犯カメラを適正に管理・運用するため、管理責任者の設置や画像データの管理、情報提供等の制限などプライバシーに配慮した要領や基準を市独自で策定して運用している。管理・運用基準がない施設でも順次作成する」と答えました。

橋爪議員は、「設置要領では、『必要な最小限の台数の防犯カメラを設置』となっているが、現場では最小限をどう判断しているのか。台数や撮影範囲は誰が見ても納得できるようにすることが必要。現場任せではなく、基準を具体化する必要があるのではないかと重ねてたずねました。

これに対して市当局は、「例えば、市民プラザでは、基本的にロビーやホール、通路など、不特定多数が動く場所に限って、21台設置している。会議室や和室などには設置していない」と答えました。

橋爪議員は最後に、「OECDの

国際基準にある8つの原則を入れて要領や規則を作るべきだ」と指摘しました。

原発をめぐる

次に橋爪議員は、GX脱炭素電源法の成立や県が「原発をめぐる3つの検証」を自ら取りまとめるとしている件に関し、柏崎刈羽原発から30km圏内の市長としての見解をたずねました。

これに関して市長は、「同法のうち、『再生可能エネルギーの最大限の導入促進』については、私自身の考えと大きな相違はないが、『原子力の活用』については、懸念を抱いている」「『原発をめぐる3つの検証』については、知事の判断であり、見解を述べる立場にない」と答えました。

橋爪議員はこの答弁に対し、「市長は選挙の時に『原発再稼働の前に、3つの検証をやる』ことが大事だと言っていたことから、市長自身の評価が必要だ。私は専門家が入った有識者委員会できちんとしたまとめをすべきだと思う。教育プラザでの検証委員会の説明の際には、避難検証委員会でも、避難をどうするかというところが全く語られなかった。これで県が強引にまとめをするようでは大問題だ。専門家がいった中でまとめをするよう、県に言うべきかどうか」と迫りました。

ところが市長は、「私としては見解を述べる立場にはない。ただ、自身は東京電力に対し非常に不信感を持つている」と答えました。

また、担当部長は「説明会において、避難委員会では専門的に即答応答できるスキルを持ったものが出席しなかった事を含め、市長に詳しく報告している」と答弁しました。そこで、橋爪議員は「その報告を再度読み直して、自らの見解を述べてほしい」と指摘しました。

新型コロナ実態把握を

橋爪議員は3つ目に、新型コロナウイルス感染症対策を取り上げました。

まずただしたのは、5類移行に伴う課題です。

市長は、「市民の不安の解消が課題。移行後の感染時の取扱いの変更点や市内の受診可能な医療機関情報のほか、一週間ごとの感染状況などを市ホームページで周知するとともに、総合相談窓口を開設し、市民への相談対応を行っている」と答えました。また、医療体制では、「上越保健所管内では約120の医療機関のうち、74が外来に対応しているほか、非公表ながら患者受入れ可能とする医療機関が約20あると聞いている。入院調整では必要な場合には、医療機関同士で調整を行うとしている」と答えました。

さらに医療機関への財政支援については、「国が対応すべきであり市独自で行う考えはない」とし、地域医療構想での病床削減方針についても、「上越地域医療構想調整会議では病床削減の議論や方針は出ていない」と突っぱねました。

また、介護施設での陽性者の入院調整については「県の対応であり、市では実態を把握していない」、受診抑制につながりかねない医療費自己負担への支援については「自己負担のために受診を控えるケースは想定できないので、支援を行う考えはない」と冷たい対応に終始しました。

そこで橋爪議員は、「施設で発生した陽性患者の8割が病院に行けずに、そこで亡くなった例も多いと報道されている。第9波に備えて、実態をきちんと把握し、方針を出すべきだ」と指摘しました。

上越保健所管内 新型コロナ感染症 感染者定点報告数

5月29日～6月4日 4.25 (県4.80)
6月5日～6月11日 5.75 (県5.49)

日本共産党上越市議員団ニュース

No.793 2023年6月25日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))